

事業概要：競争力のある力強い産業創出と地域の持続的発展のための 高度専門人材育成・交流拠点整備事業

新規

申請者	滋賀県					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	803,343千円 (182,870千円)
事業類型	ソフト 事業		拠点整 備事業	✓	インフ 整備事業		
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> ・県内の製造業や建設業を支える工学系の高度専門人材の育成拠点として、令和10年4月設置・開校予定の県立高等専門学校に図書・交流拠点施設を整備する。 ・ホール、ラーニングコモンズ、創作工房、共同研究室等を設け、学生、教員、企業関係者、大学関係者、地域住民等が交流し、地域課題の解決、共同研究、試作、成果発表等に取り組む連携・共創環境を形成する。 ・企業人材のリスキング、共同研究、小・中学生向け公開講座等を通じて、県内産業の生産性向上、新産業創出、理工系人材の裾野拡大につなげる。 						
事業概要・ 主な経費	<p>【事業概要】</p> <p>令和10年4月設置・開校予定の滋賀県立高等専門学校内に、様々な主体による連携・共創の拠点として、図書・交流拠点施設を整備する。具体的には、図書交流・食堂売店棟の1階に、ホール、ラーニングコモンズ、創作工房、共同研究室、グループワークルーム、多目的室、スタジオを整備し、学生、教員、企業関係者、大学関係者、地域住民等が討議、試作、共同研究、成果発表等を行う場とする。これにより、本県の製造業、建設業を支える高度専門人材の育成、企業との共同研究・事業化研究、企業人材のリスキング、理工系人材の裾野拡大を図る。</p>					 <ul style="list-style-type: none"> 学生寮 図書交流・食堂売店棟 (図書・交流拠点施設) 校舎棟 実習工場・実験室棟 体育館 	
	<p>【R8年度事業 経費内訳】</p> <p>○拠点整備事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・滋賀県立高等専門学校 図書・交流拠点施設整備 182,870千円 <p>図書交流・食堂売店棟の1階に、ホール、ラーニングコモンズ、創作工房、共同研究室、グループワークルーム等を整備する。</p> <p>※本事業で整備する図書・交流拠点施設は、学生、教員が利用するにとどまらず、企業関係者など様々な主体が交流し、連携・共創を行う施設である。</p>					 <p>図書交流・食堂売店棟</p>	
主なKPI	<p>※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値</p> <ul style="list-style-type: none"> ①20歳～24歳製造業正規職員・従業員数 (+1,614人) ②製造業売上増加額 (+7.1億円) ③公開講座等参加人数 (+600人) ④共同研究実施件数 (+2件) 					交付金の 実施体制	整備主体の公立大学法人滋賀県立大学と連携しながら、県立高専内に図書・交流拠点施設を整備する。

事業概要：人材循環で拓く持続可能な地域創造事業

新規

申請者	滋賀県ほか6自治体※					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	915,449千円 (277,359千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	<p>・若者、都市部人材、外国人材等が滋賀県と継続的に関わる人材循環の仕組みづくりを構築し、移住・定住と地域課題解決を促進するとともに、地域地場産業の企業に対しても適宜適切な人材共有ができるようにする。</p> <p>・「就職のハブとなる機能」の創出・強化や「地域で活躍する多様な人材・担い手の育成・確保事業」などにより、地場産業の人材確保に寄与する。</p>						
事業概要・ 主な経費	<p>【事業概要】</p> <p>県と市町が連携し、若者、都市部人材、外国人材等が滋賀県と継続的に関わる人材循環の仕組みを構築する。県は広域的な魅力発信、相談・交流拠点の運営、コーディネーター育成等を行い、参画市町は地域の特色を踏まえた交流・関係人口創出事業を実施する。若者へのアプローチ、人材循環の環境整備、持続可能な地域づくりを一体的に進め、移住・定住や地域活動への参画につなげる。</p>						
	<p>【R8年度事業 経費内訳】</p> <p>○ソフト事業</p> <p>①若者へのアプローチ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人材循環に向けたしがジョブパークの機能強化（委託料 等） 14,178千円 ・若者に選ばれるまち推進事業（委託料 等） 24,973千円 <p>②人材循環の促進に向けた環境整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・“選ばれる滋賀”創出推進事業（委託料） 56,685千円 ・まちの発信能力の向上による交流人口・関係人口の創出事業（委託料 等） 9,824千円 <p>③持続可能な地域づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人材循環を前提とした新たな自治モデル構築に向けた高度ICT人材育成事業（交付金） 14,646千円 ・地域で活躍する多様な人材・担い手の育成・確保事業（委託料 等） 22,915千円 						
主なKPI	<p>①都市地域からの滋賀県への移住者数（+88人）</p> <p>②「滋賀に誇りを持っている人の割合」の上昇（+3%）</p> <p>③「滋賀に住み続けたいと思う人の割合」の上昇（+3%）</p> <p>④地域循環にかかわるコーディネーター養成件数（+15人）</p>					交付金の 実施体制	「滋賀移住・交流促進協議会」において多様な主体の参画のもと検討した結果を受け、地方創生2.0の方針を踏まえ、人材循環に主体的に取り組むことに意欲的な市町とともに、方向性を定め実施する。

※滋賀県、大津市、長浜市、高島市、米原市、日野町、愛荘町の広域連携事業

事業概要：びわ湖発・科学的知見に基づく ネイチャーポジティブ経済推進プロジェクト

新規

<p>申請者</p>	<p>滋賀県</p>					<p>初回採択回</p>	<p>令和8年1月募集</p>
<p>事業計画期間</p>	<p>R8-R10年度</p>					<p>期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)</p>	<p>363,129千円 (123,043千円)</p>
<p>事業類型</p>	<p>ソフト事業</p>	<p>✓</p>	<p>拠点整備事業</p>		<p>インフラ整備事業</p>		
<p>目的・効果</p>	<p>・自然資本の保全・再生と、産業・観光・地域ビジネスを両立させる社会経済システムモデルを構築し、持続可能な地域経済の形成を目指す。 ・国立環境研究所琵琶湖分室と連携し、自然資本や生態系サービスの可視化を行い、科学的根拠に基づく保全・再生活動と経済活動を連動させることで、環境改善と地域の持続的成長が同時に進展する。</p>						
<p>事業概要・ 主な経費</p>	<p>【事業概要】</p> <p>琵琶湖を中心とした滋賀県の自然資本を保全対象にとどめず、地域経済を動かす基盤・投資判断の対象として位置付け、自然資本の可視化と保全・再生が仕事・所得・企業投資につながる仕組みを構築・検証する。科学的知見に基づき自然資本の状態や管理効果を地域レベルで定量的に示し、モデル地域で実証を行うとともに、「しがネイチャーポジティブネットワーク」を通じて多様なステークホルダーと横展開を図る。さらに、データ駆動型で取組を改善し、担い手・資金・事業が継続的に生み出される地方創生モデルの確立を目指す。</p> <hr/> <p>【R8年度事業 経費内訳】</p> <p>○ソフト事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・科学的根拠に基づくネイチャーポジティブ推進事業 20,800千円 ・ネイチャーポジティブ経営の実装を後押するネットワークの運営支援（委託料）5,000千円 ・自然資本を守るために活かすことを目的とした製品・サービスの開発支援（補助金）5,000千円 						
<p>主なKPI</p> <p>※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値</p>	<ol style="list-style-type: none"> ①滋賀県の自然資本を活用した事業による経済波及効果（+4.6億円） ②自然資本を活用した事業による関係人口の増加数（+450人） ③しがネイチャーポジティブネットワークの企業・団体数（+65者） ④自然資本の見える化の増加数（+18件） 					<p>交付金の 実施体制</p>	<p>地域団体や企業による実証的な取組や商品開発、サービス展開を支援しつつ、事業性の確保や市場展開については民間の創意工夫を最大限に活かすとともに、行政においては、データ提供や関係者のマッチング、制度面での支援を行う。</p>

事業概要：滋賀の山村地域リ・デザインプロジェクト

新規

申請者	滋賀県ほか2自治体※				初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度				期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	184,071千円 (59,271千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業	インフラ整備事業		
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> ・スマート林業や森業（もりぎょう）の推進により、山村地域の森林資源を持続的に活用し、林業の収益性向上と地域活性化を図る。 ・ICT技術を活用した施業、人材育成、木育施設「しがモック」の活用、地域資源を活かした取組を支援する。 ・林業従事者の所得向上、地域資源活用に取り組む団体・企業の増加、山村地域の新たな価値創出につなげる。 					
事業概要・ 主な経費	<p>【事業概要】</p> <p>ICT最新技術を活用した効率的で収益性の高いスマート林業を実践できる人材の育成や、これからの県林業の中核を担う合併森林組合等に対する経営力向上のための取組等を推進することにより新たな地域林業の振興を図る。また、木育や森林空間利用、生物多様性保全の取組など山村地域での資源活用の取組を進めるとともに、都市部の企業や団体と山村地域をつなぐ「企業の森」を進めることで滋賀の森業（もりぎょう）を推進する。</p>				<p>森林資源をフル活用した新たな山村地域の活性化</p> <p>都市</p> <p>森の多様な価値</p> <ul style="list-style-type: none"> ・CO2吸収 ・ウェルビーイング ・生物多様性 ・木材供給 <p>資金・ひと</p> <ul style="list-style-type: none"> ・関係人口等の増 ・企業活動によるCSR・CSV ・木材利用 <p>森業(もりぎょう) 森業を行う地域団体や人材の育成や「企業の森」の推進等</p> <p>人材育成等</p> <p>新たな林業 スマート林業に対応した実践的な人材育成等</p> <p>活性化</p>	
	<p>【R8年度事業 経費内訳】</p> <p>○ソフト事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スマート林業の推進（委託料）15,692千円 ・合併森林組合等の経営力向上および人材育成（委託料）9,966千円 ・長浜市内での林業振興等による地域活性化（委託料）8,038千円 ・山村資源を活用した地域活性化（委託料・補助金）11,400千円 ・企業と地域とのつなぐ「企業の森」の推進（委託料）7,832千円 ・高島市内での森林サービス産業の推進（委託料）6,343千円 					
主なKPI	<p>①林業産出額（+0.9億円）</p> <p>②林業従事者の平均所得（+339千円）</p> <p>③地域資源の活用に取り組む団体・企業数（+12団体）</p>				交付金の実施体制	県・市町が連携して地域林業の振興のための人材育成を行うとともに、林業はもとより木育、森林空間や生物多様性等も含めた山村資源の保全活用の取組を振興する。

※滋賀県、長浜市、高島市の広域連携事業

事業概要：しがのビジネス海外展開プロジェクト事業

新規

申請者	滋賀県					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	173,950千円 (53,698千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> ・県内企業の海外展開を促進するため、海外企業・支援機関・要人等との接点を強化し、滋賀ブランドの国際的な認知度向上を図る。 ・グローバルサウス諸国等における現地調査、商談機会の創出、共創プロジェクトの組成を支援し、県内企業の販路開拓につなげる。 ・国際交流や相互理解の促進を通じて、外国人材に選ばれる地域づくりと海外市場での持続的なビジネス展開を目指す。 						
事業概要・ 主な経費	<p>【事業概要】</p> <p>県内企業の海外展開を後押しするため、海外企業、海外要人、海外支援機関等との交流機会を創出し、県内企業の技術・製品や滋賀ブランドの認知度向上を図る。グローバルサウス諸国等については、現地調査、海外バイヤーとの商談機会、共創プロジェクトの組成支援を行い、県内企業の受注機会や協業案件の獲得につなげる。併せて、国際交流や相互理解の取組を通じ、外国人材に選ばれる地域づくりを進める。</p>						
	<p>【R8年度事業 経費内訳】</p> <p>○ソフト事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・海外企業や海外要人・海外支援機関とのビジネス交流の場づくりおよび国際会議等の場を利用したPR（委託料）7,000千円 ・グローバルサウス諸国を中心とした世界での経済交流の調整および現地調査、共創プロジェクト組成（委託料）18,500千円 ・県内外国人との文化およびビジネスに関する交流イベントやその支援の実施（委託料・補助金）4,859千円 ・企業の海外市場開拓の取組への補助（補助金）14,000千円 ・分野特化型の海外バイヤーとのビジネスマッチングイベントの実施（補助金）5,500千円 ・グローバル人材の採用および育成支援（委託料）3,839千円 						
主なKPI <small>※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値</small>	<ul style="list-style-type: none"> ① 県内企業の輸出額の増加（+223億円） ② バイヤーとの商談成功件数（+82件） ③ 海外で新たに販路開拓に取り組んだ数（+40社） ④ 技術・人文知識・国際業務分野の在留資格を持つ外国人材数（+1,510名） 					交付金の 実施体制	海外企業等と、県および県内企業との信頼関係構築を図り、県内企業がビジネスしやすい環境を創出するとともに、県内企業とグローバルサウス諸国企業との信頼醸成を後押しし、企業が受注や協業案件を獲得できる体制を整える。

事業概要：しが地域資源イノベーション発信地創生事業

新規

<p>申請者</p>	<p>滋賀県</p>					<p>初回採択回</p>	<p>令和8年1月募集</p>															
<p>事業計画期間</p>	<p>R8-R10年度</p>					<p>期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)</p>	<p>740,479千円 (195,549千円)</p>															
<p>事業類型</p>	<p>ソフト事業</p>	<p>✓</p>	<p>拠点整備事業</p>	<p>✓</p>	<p>インフラ整備事業</p>																	
<p>目的・効果</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・スタートアップなど多様な成長産業とそれを支える理系若年層の創出、イノベーションを進める環境の不足などの課題を解決する。 ・伝統工芸・地場産業から最新テック系企業まで、あらゆる英知をデジタル・AI・3Dなど先端技術を用いて高度化・効率化を進める。 ・教育の場から工場の現場までを対象し、幅広い分野での活性化につなげ、滋賀県をイノベーションの聖地へと導く。 																					
<p>事業概要・ 主な経費</p>	<p>【事業概要】</p> <p>「ものづくり県」として、開業率の低迷、若年層の県外流出、イノベーション環境の不足という課題を解決するため、①起業の伴走支援、連携の場、拠点整備事業と連動したイノベーション環境整備、②地場産業や伝統工芸とデジタル技術との融合による製品開発やリブランディング、③AI・デジタル技術によるマッチングやブランド力向上支援、販路拡大、高度技術の社会実装、④小中高生からのSTEAM教育や企業・大学と連携した先端技術の浸透、⑤高度な評価・試作設備を整備し、企業が活用するオープンラボ提供により人材育成・開発・販路開拓のトータルサポートを実施する。</p> <hr/> <p>【R8年度事業 経費内訳】</p> <table border="0"> <tr> <td>○ソフト事業</td> <td></td> </tr> <tr> <td>①スタートアップ創出環境生成プラン（委託・補助金）</td> <td>45,000千円</td> </tr> <tr> <td>②地域産業新結合促進プラン（委託・補助金等）</td> <td>57,918千円</td> </tr> <tr> <td>③中小企業新分野販売力強化プラン（委託・補助金等）</td> <td>29,920千円</td> </tr> <tr> <td>④学生期からの起業家育成プラン（委託・謝金等）</td> <td>20,416千円</td> </tr> <tr> <td>○拠点整備事業</td> <td></td> </tr> <tr> <td>⑤スタートアップ等高度技術支援設備整備事業</td> <td>42,295千円</td> </tr> </table>					○ソフト事業		①スタートアップ創出環境生成プラン（委託・補助金）	45,000千円	②地域産業新結合促進プラン（委託・補助金等）	57,918千円	③中小企業新分野販売力強化プラン（委託・補助金等）	29,920千円	④学生期からの起業家育成プラン（委託・謝金等）	20,416千円	○拠点整備事業		⑤スタートアップ等高度技術支援設備整備事業	42,295千円	<p>しが地域資源イノベーション発信地創生事業</p> <p>支援対象 企業（中小・地場産） 小中高（学生）</p> <p>支援体制 団体等支援機関 工業技術センター 大学</p> <p>幅広い技術を導入 地場産 伝統工芸 3Dものづくり デジタル・AI 新分野</p> <p>人材育成・開発から販路開拓までトータルサポート</p>		
○ソフト事業																						
①スタートアップ創出環境生成プラン（委託・補助金）	45,000千円																					
②地域産業新結合促進プラン（委託・補助金等）	57,918千円																					
③中小企業新分野販売力強化プラン（委託・補助金等）	29,920千円																					
④学生期からの起業家育成プラン（委託・謝金等）	20,416千円																					
○拠点整備事業																						
⑤スタートアップ等高度技術支援設備整備事業	42,295千円																					
<p>主なKPI</p> <p>※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値</p>	<ul style="list-style-type: none"> ①製造業の付加価値額の対前年度増加率（+1.8%） ②中小企業の商談成約件数（+469件） ③新たな商品・サービスの開発件数（+145件） ④人材育成の取組に参加した人数（+112,100人） 					<p>交付金の 実施体制</p>	<p>大学や関係機関と連携し、スタートアップの創出、人材の育成・定着、技術革新の支援、販売など事業の持続性までのトータルの支援を行う。</p>															

事業概要：鉄道を起点としたツーリズム促進プロジェクト

新規

申請者	滋賀県ほか10自治体※					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	675,138千円 (199,562千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> ・滋賀デスティネーションキャンペーンを契機に、鉄道を起点とした周遊・滞在型観光を促進する。 ・観光コンテンツの造成、人流データを活用した効果検証、情報発信、二次アクセス整備を一体的に実施する。 ・県内での滞在時間と宿泊を増やし、観光消費額、延べ宿泊者数、JR在来線利用者数の増加につなげる。 						
事業概要・ 主な経費	<p>【事業概要】</p> <p>滋賀デスティネーションキャンペーンの機会を活かし、鉄道利用を起点とした県内周遊・滞在型観光を推進する。観光資源を活かした特別な観光コンテンツの造成、鉄道等を利用した周遊企画、人流データに基づく効果検証、全国イベントでの情報発信、二次アクセス改善等を実施する。これにより、県内での滞在時間と宿泊を増やし、観光消費額の拡大につなげる。</p>					<p>※本事業展開のイメージ図</p>	
	<p>【R8年度事業 経費内訳】</p> <p>○ソフト事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・二次アクセスの充実に向けた取組支援（負担金）19,000千円 ・観光資源の商品化、タリフ整理、旅行会社を通じた販売網形成業務（委託料）6,050千円 ・地域の魅力で鉄道による誘客を促進するイベント開催を支援（補助金）24,280千円 ・草津市観光周遊促進事業（補助金）8,663千円 ・特別な観光コンテンツの創出（補助金）1,200千円 ・PR印刷物作成（印刷製本費）1,243千円 ・公共交通を活用した観光周遊企画の支援（負担金）10,000千円 ・地域の歴史的特性を軸とするイベント等の開催支援（補助金）5,000千円 ・滋賀デスティネーションキャンペーンを契機とした観光コンテンツ創出事業（委託料）1,000千円 						
主なKPI	<p>※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値</p> <ul style="list-style-type: none"> ①観光消費額（+136億円） ②延べ宿泊者数（+67万人） ③JR在来線の利用者数（乗車人数）（+8.5千人） 					交付金の 実施体制	地域の多様な主体の参画を通じた持続可能な地域経済活性化を図るため、官民一体となって情報発信を行い、観光振興を通じた地域活性化のために組織している「滋賀県シガリズム・デスティネーションキャンペーン推進協議会」を中心に実施する。

※滋賀県、大津市、長浜市、草津市、守山市、栗東市、甲賀市、野洲市、東近江市、米原市、日野町の広域連携事業

事業概要：世界農業遺産「琵琶湖システム」次世代継承プロジェクト

新規

申請者	滋賀県					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	151,757千円 (50,109千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> 世界農業遺産「琵琶湖システム」の認知度向上と次世代への継承を図り、県産農水産物の消費拡大につなげる。 びわ湖魚グルメの普及、湖魚の供給・消費体制の構築、ビワマス養殖の実証等により、新たな食文化の定着を促進する。 魚のゆりかご水田米など環境こだわり農産物の価値を発信し、農業・水産業の所得向上と地域経済の活性化を図る。 						
事業概要・ 主な経費	<p>【事業概要】</p> <p>世界農業遺産「琵琶湖システム」を次世代へ継承するため、県産農水産物の魅力を消費者目線で発信し、食べる機会を増やす取組を実施する。びわ湖魚グルメの普及、企業等と連携した湖魚の供給・消費システム構築、ビワマス湖中養殖の実証、魚のゆりかご水田米のPR等を行い、琵琶湖と共生する農業・水産業の価値を高める。これにより、農業・水産業の生産体制の安定化と地域の食文化の定着を図る。</p> <hr/> <p>【R8年度事業 経費内訳】</p> <p>○ソフト事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 「びわ湖魚グルメ」地域定着・持続化事業（委託料）11,400千円 地域企業との新結合による湖魚需要システム化推進事業(委託料) 5,000千円 湖魚供給・消費システム安定化事業（補助金）6,480千円 自然とつながる湖のしごと実践支援事業（委託料）14,950千円 ビワマス湖中養殖技術確立事業（委託料）2,500千円 養殖ビワマス市場調査事業（委託料）2,500千円 「魚のゆりかご水田米」販売戦略強化事業（委託料）1,744千円 						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	<ol style="list-style-type: none"> ①農業・水産業産出額（+40.2億円） ②びわ湖魚グルメメニュー販売食数（+3万食） ③琵琶湖八珍マイスター登録店（+12件） ④湖中養殖によるビワマス生産量（+3トン） ⑤魚のゆりかご水田新規取組地区数（+4地区） 					交付金の 実施体制	びわ湖魚グルメの地域定着化や地域企業等との新結合、多様な主体の参画および農水産物の利活用を促進することで、「琵琶湖システム」に育まれた県産農水産物の価値向上や生産・流通体制等の整備を推進する。

事業概要：つながる、つづく、しがの農業プロジェクト

新規

申請者	滋賀県				初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度				期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	205,806千円 (63,326千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業	インフラ整備事業		

目的・効果

- ・担い手不足や気候変動等に対応するため、農業者・産地・流通・消費の各段階における「作る力」「届ける力」「伝える力」を強化する。
- ・地域農業推進会議の設置、スマート農業・気候変動対策、地産地消や県産食材の販路拡大を一体的に進める。
- ・持続可能な地域農業の実現、県産農畜水産物の消費拡大、農業産出額の向上につなげる。

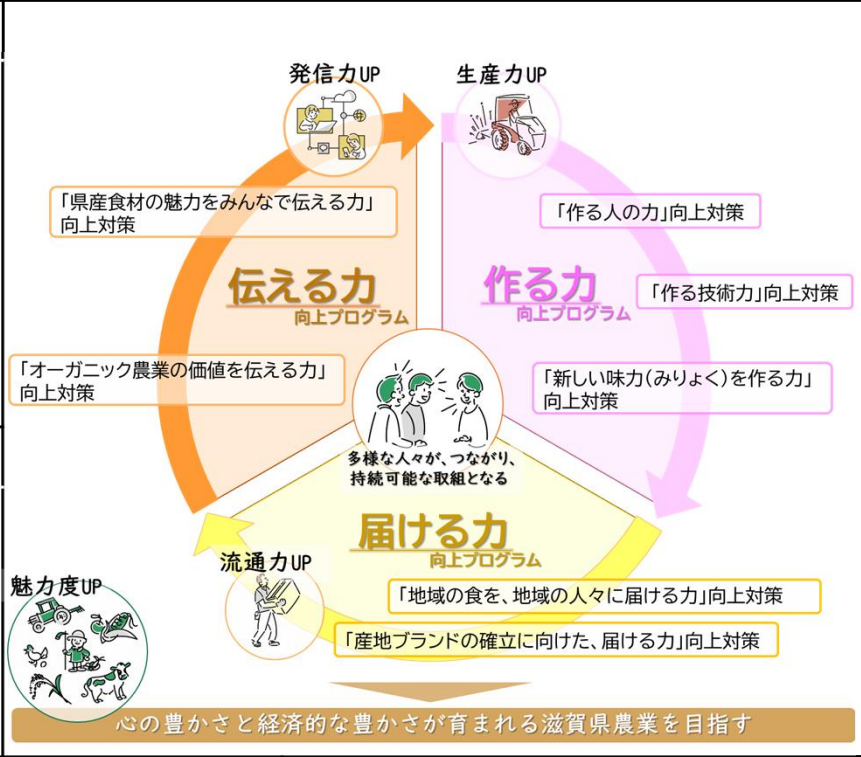
事業概要・主な経費

【事業概要】
 持続可能な地域農業を実現するため、「作る力」「届ける力」「伝える力」の向上に向けた取組を一体的に実施する。
 「作る力」の向上では、地域農業の維持や若者の就農を促進する地域の体制構築、高温耐性品種の導入や栽培技術の励行、近江牛の食味向上に取り組む。また、「届ける力」の向上では、地域の食を確実に地域の人々に届ける体制づくりや、県産成イチゴ「みおしずく」をモデルとした流通体制の見直し・整備に取り組む。加えて、「伝える力」の向上では、生産者、食品関連事業者の新たな協働による県産農畜水産物を活用する取組の活性化やオーガニック米「きらみずき」を柱にしたオーガニック農業の魅力発信に取り組む。
 これにより、担い手確保、産地力向上、県産農畜水産物の消費拡大を図る。

【R8年度事業 経費内訳】

○ソフト事業

- 1 「作る力」の向上プログラム 21,326千円
 持続可能な地域農業の実現に向けた取組支援（補助金）11,000千円 他
- 2 「届ける力」の向上プログラム 24,000千円
 県域での市場出荷に向けた流通体制見直し等の取組支援（補助金）10,000千円 他
- 3 「伝える力」の向上プログラム 18,000千円
 新たな協働による取組活性化に向けた伴走支援（委託料）13,000千円 他



主なKPI

※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値

- ① 農業産出額(+36億円)
- ② 西日本における滋賀県産米の一等米比率の順位 (+12ランクアップ)
- ③ 1億円以上の売上を維持または目指す産地または経営体数 (+6件)
- ④ 県産農畜水産物を活用し消費拡大を進める事業者数 (+150者)

交付金の実施体制

本県の重要な産業である農業を担う生産者をはじめとした、流通・小売事業者、消費者等の多様な人々が「新たなつながり」を形成し、「作る力」「届ける力」「伝える力」の向上に向けた取組を進める。

事業概要：滋賀県北部振興事業

～課題先進地における地域特性を活かした魅力ある地域づくり～

継続

申請者	滋賀県ほか3自治体※					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	2,391,735千円 (504,433千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> ・人口減少が進む北の近江地域において、移住促進、関係人口創出、地域産業振興、観光振興を一体的に進める。 ・長浜市、米原市、高島市等が連携し、若者・外部人材との共創、企業・大学との連携、地域資源を活かした魅力発信を実施する。 ・地域へのUIターン、連携プロジェクト、観光入込客数の増加を通じて、持続可能な地域づくりにつなげる。 						
事業概要・ 主な経費	<p>【事業概要】</p> <p>北の近江地域における人口減少、若者流出、関係人口不足、地域産業の担い手不足に対応するため、県と長浜市・米原市・高島市等が連携して事業を実施する。当該地域は、地理的背景等を要因とする独自の暮らし文化が営まれてきており、他地域にはない魅力やポテンシャルを有する地域である。</p> <p>そのポテンシャルを十分に発揮させ、若者や外部人材との共創、移住促進、シビックプライド醸成、企業・大学との連携、首都圏での魅力発信、観光・地域資源を活かしたプロジェクトを進めることにより、UIターン、関係人口、観光入込客の増加を図る。</p>					 <p>北の近江振興 プロジェクト</p>	
	<p>【R8年度事業 経費内訳】</p> <p>○ソフト事業 <人口流入を増やす、流出を減らす取組> ・移住コーディネーター事業（委託料）6,000千円 <関係人口・関係企業/団体を巻き込む取組> ・企業研修コーディネート業務（委託料）12,790千円 <エリア内の一体的な取組の推進や魅力の発信> ・北の近江振興プロジェクト推進補助金（補助金）120,000千円 <地域力を活かした取組> ・豊臣兄弟博覧会開催事業（委託料 等）98,570千円</p> <p>○拠点整備事業 ・（仮称）小谷城戦国体験ミュージアムの整備 152,197千円</p>						
主なKPI <small>※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値</small>	<ol style="list-style-type: none"> ①地域へのUIターン増加数（+350人） ②新規エリア連携プロジェクト（+25件） ③北部地域への観光入込客数（+3,198,390人） ④SMOUTランキング順位上昇値（4ランク上昇） 					交付金の 実施体制	県と北の近江地域に存する3市、および3市内の事業者等関係者が一丸となって、各課題に対応した取組を推進する。

※滋賀県、長浜市、高島市、米原市の広域連携事業

事業概要：滋賀の観光産業における“新”観光力創出プロジェクト

継続

申請者	滋賀県ほか5自治体※					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	873,831千円 (283,815千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> ・トランスフォーマティブトラベル、観光DX、メタ観光を組み合わせ、滋賀ならではの新しい観光力を創出する。 ・学びや行動変容につながる高付加価値コンテンツの造成、観光データ活用、デジタル上の情報連結を推進する。 ・インバウンドや教育旅行を含む誘客を強化し、宿泊者数、観光消費額、外国人観光入込客数の増加につなげる。 						
事業概要・ 主な経費	<p>【事業概要】</p> <p>滋賀の観光産業を強化するため、刷新力、獲得力、連結力の3つの新しい観光力を創出する。学びや行動変容を促すトランスフォーマティブトラベルの造成・プロモーション、DMP等を活用した観光DX、デジタル上で地域資源をつなぐメタ観光を推進する。県と市町が連携し、高付加価値旅行者、インバウンド、教育旅行等の誘客を進め、宿泊者数と観光消費額の増加につなげる。</p>					<p>「刷新力」で取り組む「トランスフォーマティブトラベル」のイメージ</p> 	
	<p>【R8年度事業 経費内訳】</p> <p>○ソフト事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国内観光活性化事業（補助金） 76,642千円 ・インバウンド誘客力向上事業（補助金） 60,034千円 ・大津市三大祭事業補助金 16,153千円 ・観音文化の「体験」と「交流」による承継を支援（負担金） 1,940千円 ・外国人観光客の誘客と受入れ体制の強化を支援（委託料） 5,360千円 ・HMDシステムでの普及啓発業務 770千円 ・自転車活用推進人材育成等支援業務（委託料） 297千円 ・人流データを活用した観光地分析及び周遊促進事業（委託料） 5,000千円 						
主なKPI	<ul style="list-style-type: none"> ① 観光消費額（+510億円） ② 延べ宿泊者数（+56万人） ③ 外国人延べ観光入込客数（+29.3万人） <p>※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値</p>					交付金の 実施体制	県・市町・関係機関が連携して、「刷新力」「獲得力」「連結力」の3つの新しい観光力を創出することで、観光産業を強化し、本県の持続可能な観光地づくりを推進する。

※滋賀県、大津市、長浜市、近江八幡市、守山市、東近江市の広域連携事業

事業概要：（仮称）水と緑と人につながる「THEシガパーク」おもてなしプロジェクト

継続

申請者	滋賀県					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R12年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	5,279,034千円 (1,127,051千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> ・県内公園を「THEシガパーク」として一体的に捉え、DX、魅力発信、移動体験、健康づくりを通じた新たな公園利用を促進する。 ・WEBカメラや位置情報データの活用、パーソナルモビリティ、周辺施設との連携、案内設備等の整備を進める。 ・公園の快適性と回遊性を高め、観光消費額、公園利用者数、公共交通利用者数の増加につなげる。 						
事業概要・主な経費	<p>【事業概要】</p> <p>公園利用者の増加を目指してTHEシガパークの拠点となる各公園のインフラやおもてなし施設等の整備による快適性や魅力の向上を行うとともに、公園間で連携した一体的な広報や連携イベントを実施する。</p> <p>さらに、公園を拠点とした周遊観光・長期滞在につながるように、公園と周辺の施設間での周遊を促進するソフト事業を実施する。</p> <p>加えて、自動車や自転車等による公園や他の観光施設の周遊を促進するため、施設間の道路を整備する。</p> <hr/> <p>【R8年度事業 経費内訳】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ソフト事業 <ul style="list-style-type: none"> ・公園の快適性の向上および公園間で連携したPRの推進 34,983千円 ・公園と他の観光施設間での周遊を促進 131,968千円 ○拠点整備事業 <ul style="list-style-type: none"> ・シガパークのおもてなし施設(トイレ、駐車場、看板)を整備 185,100千円 ○インフラ整備事業 <ul style="list-style-type: none"> ・琵琶湖岸の公園のインフラ等の整備 335,000千円 ・周辺の道路環境整備や自転車等の周遊のための道路整備 440,000千円 						
主なKPI	<ul style="list-style-type: none"> ①地域における観光消費額（+753億円） ②シガパークにおける年間利用者数（+378千人） ③JR在来線の利用者数（+17,076人） <p>※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値</p>					交付金の実施体制	「THEシガパーク推進会議」により、公園所管部局同士や県のような様々な部局等の多様な主体と連携し、誰もが環境に配慮しながら、持続可能な形で、公園の一体的な魅力の向上に、取り組んでいく。

事業概要：しがテックイノベーション創出事業

継続

申請者	滋賀県					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	1,145,057千円 (445,251千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		

目的・効果

- ・県内企業の新分野参入や技術高度化を支援し、半導体、AI、航空宇宙等の成長分野に対応できる産業基盤を強化する。
- ・セミナー・特別講座によるリスキング、企業ニーズと技術シーズの橋渡し、新規設備の整備により、研究開発と製品化を促進する。
- ・県内製造業の付加価値向上、新技術を有する企業の創出、理系人材の県内定着につなげる。

事業概要・主な経費

【事業概要】

半導体や宇宙、AIなど将来の本県産業をけん引する分野への中小企業の新規参入を促すため、大学等と連携し、以下の取組の好循環により、イノベーションの創出と本県経済の活性化を図る。

①大学等との連携による技術人材育成プログラムによる企業の新分野進出の橋渡し「リスキングブリッジ創出事業委託」

②中小企業の技術開発の挑戦をサポートするため、工業技術センターをイノベーションの拠点とする「イノベーションベース整備」

【R8年度事業 経費内訳】

- ソフト事業
 - ・リスキングブリッジ創出事業 20,000千円
半導体、AI、航空宇宙等の新分野に関するセミナーや特別講座を開催し、県内企業の技術知識の高度化を支援する。
- 拠点整備事業
 - ・工業技術センターに、評価施設を整備する。
 - ・建築物整備 24,255千円
新分野の研究開発・技術支援に必要な拠点機能を整備する。
 - ・設備整備・用地造成等 400,996千円
県内企業の試作、評価、共同研究に必要な開発設備等を整備する。

**しがテック
イノベーション創出事業**

半導体、AI、宇宙、サステナビリティ等の次世代産業への進出

半導体
分野

宇宙
分野

3Dもの
づくり

サステイ
ナブル

★新分野進出への情報提供

○リスキングブリッジ創出事業委託
目的に応じた講座プログラムによる知識の習得による新分野への橋渡し

中小企業

★技術開発に必要な環境
(研究開発+人材育成)を整備

○イノベーションベース整備
・関連装置の設置による企業等の開発環境拠点の整備
・研究開発、評価分析に携わる高度人材育成

工業技術総合センター
東北部工業技術センター

主なKPI <small>※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値</small>	<ul style="list-style-type: none"> ①滋賀県製造業の付加価値額増加率 (+0.58%) ②利用上位20社の製造品出荷額の増加率 (+9.0%) ③〃現金給与の増加率 (+1.7%) ④〃雇用者数の増加率 (+2.5%) ⑤両工業技術センターに導入する設備の利用件数 (+2,776件) 	交付金の実施体制	<p>新技術の開発支援を、県、大学などの支援機関が広く連携し、支援環境を充実させる事で新規分野での研究開発型ベンチャー、既存企業の新規参入の機会を増やし、多様な産業と魅力ある雇用の場を創出する。</p>
---	--	-----------------	---

事業概要：「道の駅」活用・リニューアル&防災拠点化プロジェクト

継続

申請者	滋賀県、草津市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R11年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	3,398,366千円 (438,857千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> ・県内道の駅を観光・地域活性化・防災の拠点として再構築し、単なる休憩場所から周遊と交流を生む拠点へ転換する。 ・AIカメラ等による利用サービス向上、サイクルイベント、施設リニューアル、駐車場・アクセス道路整備を一体的に実施する。 ・道の駅の入込客数・売上高の増加、ビワイチ等との連携による観光消費の拡大、防災機能の向上につなげる。 						
事業概要・ 主な経費	<p>【事業概要】</p> <p>県内道の駅を観光、地域振興、防災の拠点としてリニューアルし、休憩場所にとどまらない周遊・交流拠点へ転換する。AIカメラ等を活用した駐車場利用状況の把握、ビワイチサイクリングナビとの連携、サイクルイベントやスタンプラリー、物販施設の利用促進を実施する。併せて、施設リニューアル、駐車場、アクセス道路等を整備し、道の駅の集客力と防災機能を高める。</p>						
	<p>【R8年度事業 経費内訳】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ソフト事業 <ul style="list-style-type: none"> ・カメラ設置による利用サービス向上事業 3,000千円 ○拠点整備事業 <ul style="list-style-type: none"> ・建築物の設計 23,857千円 ○インフラ整備事業 <ul style="list-style-type: none"> ・道路整備事業 412,000千円 道の駅へのアクセス道路整備、道の駅の駐車場整備等 						
主なKPI	<ul style="list-style-type: none"> ①地域における観光消費額 (+754億円) ②道の駅「草津」における入込客数 (+24.5万人/年) ③道の駅「草津」における売上高 (+312百万円/年) <p>※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値</p>					交付金の 実施体制	県と市が中心となって、地域住民や民間事業者、大学、農協、学識経験者らの様々な立場や視点から意見や提案を募り、施設を整備していく。

事業概要：文化財を核としたエコ・トランクイリティな滋賀たび事業

継続

<p>申請者</p>	<p>滋賀県</p>					<p>初回採択回</p>	<p>令和7年度第2回募集</p>
<p>事業計画期間</p>	<p>R7-R9年度</p>					<p>期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)</p>	<p>125,000千円 (43,000千円)</p>
<p>事業類型</p>	<p>ソフト事業</p>	<p>✓</p>	<p>拠点整備事業</p>		<p>インフラ整備事業</p>		
<p>目的・効果</p>	<p>歴史や文化財に恵まれ、鉄道網が充実している滋賀県のポテンシャルをさらに磨き、特定スポットや一過性の来訪にとどまらず、複数のスポットを周遊しながら、文化財や地域のコンテンツの価値を面的に楽しむことにより、地域そのものに魅力や愛着を感じさせ、経済波及効果を向上し、公共交通を活性化させる、サステナブルな観光を創出する。 滋賀県を代表する観光地であり、世界遺産登録を目指す彦根城周辺において、“ウォーカブルなまち”のシンボルとなる、最新の自動運転EVバスの導入や、店舗・施設等との連携に取り組むことにより、徒歩と公共交通による、快適な回遊環境を創出する。これにより、観光客の周遊・分散を促進し、まちのにぎわい創出や交通渋滞の解消を図る。さらに、公共交通での県内他地域への周遊を促すことで、来訪者の満足度向上、滞在日数の増加、観光消費額の増加、公共交通の活性化に寄与する。</p>						
<p>事業概要・ 主な経費</p>	<p>【事業概要】 彦根城周辺において、世界遺産登録後を見据え、“ウォーカブルなまち”のシンボルとなる“楽しく、グリーンな移動手段”として、自動運転EVバス導入や店舗・施設等との連携、持続的な観光に向けたおもてなしのひとづくりに取り組む。 徒歩と新たな公共交通による快適な回遊環境を創出することで、観光客の周遊・分散を促進し、まちのにぎわい創出や交通渋滞の解消を図る。 また、公共交通での県内他地域への周遊を促すことで、来訪者の満足度向上、滞在日数増加、観光消費額増加、公共交通の活性化に寄与する。</p> <hr/> <p>【R8年度事業 経費内訳】</p> <p>○ソフト事業 自動運転バスや店舗等と連携した取組による回遊環境の創出、おもてなしのひとづくりを実施する。 ・自動運転EVバスの実証運行（委託料）42,000千円 ・公共交通（エコ交通）での周遊応援店舗等育成（委託料）200千円 ・おもてなしのひとづくり（委託料）800千円</p>						
<p>主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値</p>	<p>①県内における観光消費額（+510億円） ②JR在来線の利用者数（+8,538人） ③自動運転バス、エコ交通応援店舗利用者の再利用意向（+60%）</p>					<p>交付金の 実施体制</p>	<p>彦根城周辺エリア一体で、にぎわい創出につなげるとともに、公共交通による県内他地域への周遊に誘うため、観光施設や民間店舗、公共交通機関等の多様な主体との連携に取り組む。</p>

事業概要：滋賀の地域資源の発掘・保存・磨き上げ・活用 サイクル化プロジェクト

旧制度（推進）

申請者	滋賀県	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	144,494千円 (47,571千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> ・滋賀県の文化・歴史・自然等の地域資源を発掘・保存・磨き上げ、観光や交流につながる活用サイクルを形成する。 ・文化観光の推進、地域資源をつなぐツアー造成、一体的な情報発信等により、国内外からの誘客を図る。 ・地域資源の価値を県民・来訪者が享受できる環境を整え、観光消費額と地域経済への波及効果を高める。 		
事業概要・ 主な経費	<p>【事業概要】</p> <p>地域資源の発掘・保存・磨き上げ・活用を一体的に進め、文化観光を通じた誘客と地域活性化を図る。県内の文化、歴史、自然等の地域資源をつなぎ合わせ、ツアー造成、情報発信、県立美術館等の文化施設と連携した取組を行う。これにより、県民や来訪者が地域資源の魅力を享受できる環境を整え、観光入込客数や観光消費額の増加につなげる。</p>		
	<p>【R8年度事業 経費内訳】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○本県特有の地理的要因（地域資源の点在）対応 <ul style="list-style-type: none"> ・近江の文学普及事業（委託料）3,400千円 ・美の魅力一体的発信事業（委託料）2,860千円 ○本県特有の地理的要因（北部地域の振興）対応 <ul style="list-style-type: none"> ・「近江の城」魅力発信事業（補助金：6,500千円、委託料：3,630千円、使用料：685千円 他） ○本県特有の地理的要因（近畿圏における立地）対応 <ul style="list-style-type: none"> ・シンボルスポート創出・定着事業（補助金）13,924千円 ・滋賀の文化観光推進事業（補助金）4,200千円 		
KPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	<ul style="list-style-type: none"> ①地域における観光消費額（+105.49億円） ②地域における観光入込客数（+3,162.48千人） ③地域における観光入込客数による地域への経済波及効果（+0.40倍） ④県立美術館の展覧会観覧者数（+35.00千人） 		<p>交付金の実施体制</p> <p>産学官が連携し一体となって地域資源の発掘、保存、磨き上げ、活用のサイクルを回して好循環につなげる。また、ネットワークの更なる強化や、デジタル技術を活用し広域的に地域資源を発信することで一部の地域ではなく県域全体の地域活性化を図る。</p>

事業概要：デジタルプラットフォームを活用した関係人口拡大事業 「かかわりファクトリー滋賀」

旧制度（推進）

申請者	滋賀県	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	224,798千円 (39,356千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・Society5.0型	事業分野	地方への人の流れ分野

目的・効果

- ・デジタルプラットフォームを活用し、県外人材が滋賀県の地域課題や地域づくりに継続的に関わる仕組みを構築する。
- ・地域プロジェクト情報の集約、デジタル地域コミュニティ通貨の導入、デジタル人材育成を通じて関係人口の参画を促進する。
- ・関係人口の力を地域課題解決に活かし、デジタル実装による地域活性化と継続的な人材循環につなげる。

【事業概要】

県内の地域づくりや地域課題解決に関するプロジェクトを集約するデジタルプラットフォームを導入し、県外人材が滋賀県に関わる「かかわりしろ」を継続的に生み出す。デジタル地域コミュニティ通貨を活用し、地域内外の人材が活動に参加しやすい仕組みを構築するとともに、デジタル技術を活用できる人材育成を行う。これにより、関係人口の拡大と地域課題解決の好循環を形成する。


【R8年度事業 経費内訳】

- デジタルプラットフォームの導入
 - ・システム運営（負担金）17,028千円
 - ・体制管理費（負担金）3,972千円
- デジタル地域コミュニティ通貨の導入
 - ・システム運営（負担金）6,050千円
 - ・データ分析費（負担金）2,550千円
- ひとづくりの推進（デジタル人材の育成）
 - ・エリアコーディネーター配置（負担金）5,400千円
 - ・普及促進（負担金）4,356千円


滋賀県の「かかわりしろ」を全国に向けて発信

地域を支える人材が県内で継続的に活躍

一例：
お祭りのダシ制作のお手伝い



仲屋町（近江八幡市）
【左義長まつり】左義長ダシ制作のお手伝いしてあげませんか
● +2000 もらう



KPI
※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値

- ①デジタルプラットフォームを通じた関係人口創出数（+8,000人）
- ②デジタルプラットフォームへのプロジェクト掲載件数（+2,904件）
- ③デジタル地域コミュニティ通貨のユーザー数（+20,700人）
- ④デジタル地域コミュニティ通貨のスポット数（+1,575件）

交付金の実施体制

県や市町、あるいは民間企業等が取り組む、地域づくりや地域活性化に関する取組等を集約し、発信するとともに県の部局や市町組織の枠組みを超えた県域での関係人口データベースを形成する。こうした情報を県各部局・市町等の施策展開・相互連携に活用し、外部人材を効果的・効率的に活かした地域活性化を図る。

事業概要：製造業のスタートアップとイノベーションを促進する、 「企業に寄り添うパートナーシップ型工業技術センター」整備事業

旧制度（拠点）

※PFI活用

申請者	滋賀県	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	2,263,174千円 (1,049,638千円)
事業タイプ・類型	地方創生拠点整備タイプ	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> ・東北部工業技術センターを統合移転し、企業に寄り添う技術開発・試作・評価・販路支援の拠点として機能強化を図る。 ・オープンラボ、オープンサロン、サテライト室、工場棟等を整備し、県内企業の技術相談、共同開発、商談機会の創出を促進する。 ・北部地域の製造業の競争力向上、スタートアップ・イノベーション創出、理系人材の県内定着につなげる。 		
事業概要・ 主な経費	<p>【事業概要】</p> <p>既存の東北部工業技術センターの統合移転において、オープンラボ（研究シーズを事業へと繋げる場）を整備し、ベンチャー等を創出するための環境を整えるとともに、オープンサロン（製品を「売る」ための支援場）、サテライト室（立地的に不便な企業の経営支援強化）、工場棟（製品の試作・評価）の整備により、オープンイノベーションの加速を図る。</p>		
	<p>【R8年度事業 経費内訳】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○施設整備等経費（設備整備・用地造成を除く） <ul style="list-style-type: none"> ・建築物本体工事 建築工事費 730,742千円 ○効果促進事業（ハード事業）経費 <ul style="list-style-type: none"> ・設備整備 設備整備費 203,360千円 ・外構工事 115,536千円 		
KPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	<ul style="list-style-type: none"> ①滋賀県北部の製造品出荷額（+80億円） ②オープンイノベーションセンターを活用し、県内企業が県外の企業と商談を行った件数（+100件） ③東北部工業技術センターの技術相談対応件数（+1,000件） ④理系大学出身者の県内企業への就職者数（+120人） 		<p>交付金の 実施体制</p> <p>オープンイノベーションセンター（工場棟、イノベーション創出支援棟）の整備によって、独自の技術を持ったベンチャー等が県内に誕生し、新たな地域産業の柱の構築や理系若年層の雇用ミスマッチが解決され、県産業全体の活性化するよう取り組む。</p>



事業概要：ダムとサイクリングによる甲賀・日野地域活性化事業

新規

申請者	滋賀県、甲賀市					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R12年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	983,200千円 (25,000千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> ・ダムやサイクリング、地場産品を活用したイベントを開催し知名度を向上させ、新たなファン層を獲得し訪問者の増加を図る。 ・甲賀地域、日野地域の2箇所のダムに拠点施設を設置し、近隣に存在する観光施設群をめぐる観光行動を促す。 ・2拠点を結ぶサイクリングコースに着目し、サイクリングで繋ぎ点を線へと変えて周遊性を高め、知名度の向上と滞在型観光を促進し、地域の付加価値向上と経済拡大による地域活性化を目指す。 						
事業概要・ 主な経費	<p>【事業概要】</p> <p>青土ダムと日野川ダムを核に、ダムの魅力とサイクリングを組み合わせた周遊観光を創出する。青土ダムではフォトスポット整備、既存公衆トイレ改修、ダム内部見学に向けた設備改修を行い、日野川ダムでは眺望や脇堤を活かした立寄り拠点化を図る。あわせて、自転車周遊ルート整備や、ダムをサイクリングでめぐる「サイクルツーリズム」と「ダムインフラツーリズム」が連携したイベント、地場産品を活用したマルシェ、普段は見ることのできないダム内部を見学できるイベント等を実施し、甲賀・日野地域の観光消費と交流人口の拡大につなげる。</p>					 <p>←青土ダム</p> <p>青土ダムエコバレイ</p> <p>↓</p> 	
	<p>【R8年度事業 経費内訳】</p> <p>○拠点整備事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公衆トイレ、ダムエレベーター改築に係る設計業務 25,000千円 <p>ダム周辺の来訪者受入機能を高めるため、拠点施設の整備を行う。</p>						
主なKPI <small>※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値</small>	<ul style="list-style-type: none"> ①滋賀県の観光消費額 (+755億円) ②ダムカード配付枚数 (+1,440枚) ③青土ダムエコバレイ利用者数 (+630人) 					交付金の 実施体制	市町や近隣の観光施設と連携し、豊かな自然、地域で生産された地場産品などをアピールし、それをサイクリングというツールで繋ぐことで、近隣の観光施設等も合わせた知名度の向上と滞在型観光を促す。